

一般社団法人  
日本産業カウンセラー協会  
60周年特別号外

働く人と

共に歩んで

60年



一般社団法人 日本産業カウンセラー協会

〒105-0004 東京都港区新橋 6-17-17  
御成門センタービル 6階  
TEL : (03)3438-4568 FAX : (03)3438-4487  
https://www.counselor.or.jp  
kouhou@counselor.or.jp

Contents 2020.2.15

- 1 第49回 全国研究大会in関西 実行委員会日より
- 2 日本産業カウンセラー協会が歩んできた60年
- 4 第49回 全国研究大会in関西 「ええとて関西〜おこしやす〜!!!」



2020産業カウンセリング  
第49回全国研究大会in関西



全国研究大会  
実行委員会日より

特別講演 生稲晃子先生をご紹介します

今回は、「全国研究大会in関西」初日(5月30日)の特別講演・生稲晃子氏実現までの経緯と、会員の皆さまへのメッセージをご紹介します。

内閣府の働き方改革実現会議の有識者議員として、自らの体験から、治療と仕事の両立支援「トライアングル型支援」の推進にご尽力された生稲氏にぜひ講演を依頼したいとの声が上がりました。

ただ、今まで当協会との直接的な接点が無かったため、これは直接お会いして思いを伝えるしかない所、所属事務所に向ったところ、ご本人は不在でしたがマネージャーさんにお会いでき、当協会の活動内容や全国研究大会の意義をお伝えすることができました。後日、快諾の返事をいただき、その後、託問実行委員長が事務所に挨拶に行き、大会へ向けてのメッセージを頂戴しました。



【プロフィール】 1986年6月7日生まれ「タヤハニエニセン」おニサンクラブオーナー兼合格、おニサン卒業後は、女優・リポーター・講演活動等で活躍。主な出演番組に「藤村坊っちゃん」(テレビ朝日)、「キッズワーカー」(TBS系)、「芸能花嫁団」(NHK)等。

乳がん闘病を綴った「右胸にありがとう」そしてさようなら」(光文社)が発売中。現在は、「スイッチ」(東海テレビ)火曜レギュラー、「重要LIVE」(フジテレビ系)水曜レギュラー、「働き方改革フォーラム」(全国1民間議員や、厚生労働省が対策推進企業アソシアティブイサリ)ポーターを務める。心理カウンセラー、メンタルトレーナー。

「5度の手術を  
乗り越えて……今」

生稲 晃子

2011年、久しぶりに受けた人間ドックで乳がんが見つかりました。マンモグラフィーでは異常がなかったのですが、超音波で再検査となり、その結果悪性であると告げられました。がんという2文字は、やはりショックでした。現実のこととして受け止められなかった自分がいました。ただ、8mmという早期の状態で見つけていたのです。少し安堵したことを覚えてます。

しかし、手術をしていただいたのですが、翌年再発しました。もう一度繰り返しなければならぬ恐怖、不安、痛み……。なんという人生なのだろうと思えました。それがまさか自分の身に起こることは……。悲しいことに、私の乳がんはそれで終わりました。さらに次の年、2度目の再発。初期のがんだっただけで、早期発見でラッキーな患者だっただけで済んだ。最初のがんが見つかった時よりも深刻な事態が待ち受けているだろうと覚悟はしていましたが、主治医から右胸全摘出の話があった時は初めて診察室で泣きました。もちろんショックではありましたが、あまり悩むことはありませんでした。私は娘のために命を優先しなければ！娘が成人するまでは死ぬわけにはいかない、生きていなければと右胸とさよならすることを決めました。

私は健康番組に長く携わっていたので、公表を控えていました。でも、2度目の再発を乗り越えた時に、せっかく生きるか死ぬかの病気になるのだから、この経験を話すことで誰かの力になれるのではないかと、命の大切さを一人でも多くの方に伝えていくことができたから、この闘病生活も私の人生の中で決して無駄な日々ではなかったと思えるかもしれないと考え、再発手術まで終えたのち公表させていただきました。

また、この病を経験したことがきっかけで、2017年3月まで、内閣府の働き方改革実現会議の民間議員として、安倍総理大臣議長のもと、会議に参加させていただきました。この会議の中で、トライアングル型支援というものを提案させていただき、働き方改革実行計画に盛り込んでいただきました。私は治療と仕事の両立支援には、医療側と会社側がしっかりと連携を取り、両立支援ではないかと考えました。医療側と会社側、そして2つをつなぐ役割目などとして、両立支援コーディネーターを置き、患者である労働者を支援していくというものが私を期待しています。

協会創立60周年記念  
2020産業カウンセリング  
全国研究大会in関西

参加申込み  
受付中!

全国の会員が集い、共に学び、交流を深めるこの機会を大切に、乗り遅れまいのことにしたいと思います。より多くの会員の皆さまの参加をお待ちしております。

申込み期限 **3月31日** 産業カウンセラー養成講座、キャリアコンサルティング  
養成講習受講中の方は **5月11日**

大会参加申込み 申込み方法は、会報誌1-2月台併号封入の別冊「大会ガイド」で  
ご確認ください。

また、大会専用ホームページでも確認できます。  
<https://jica-kansai2020.jp>



大会テーマ

「伝統と創造 ～60年の歴史を継承し、未来を創造する～」

5月30日 開会式 13:00～(ロームシアター 京都)  
基調講演 福聚寺住職・芥川賞作家 玄侑宗久氏  
特別講演 女優・心理カウンセラー 生稲晃子氏  
交流会 (京都市勤業館 みやこめつせ)

\*開会式の受付は12:00～「京都市勤業館みやこめつせ」

5月31日 分科会 9:30～(京都市勤業館 みやこめつせ)

\*2日目から参加の方は9:00～受付





# 日本産業カウンセラー協会が

# 歩んできた60年

日本産業カウンセラー協会は1960年に誕生しました。

設立当時、産業界は高度成長期にあり、親元を離れ寂しさを抱えた中学・高校卒業の若年層労働者や技術革新に苦悩する労働者が増加していました。草創期の諸先輩方は、そのような悩みを抱える労働者に寄り添い、心身ともに元気で働けるよう支援に情熱を注ぎました。

その志は現在も受け継がれ、社会や労働環境の変化に柔軟に対応し働く人と組織を支援してまいりました。人間尊重の精神にたち、産業カウンセリングを通して、働く人をめぐる組織と環境の調整、コミュニティーの活性化に寄与し、人びとが信頼と安心の絆で結ばれる社会づくりに貢献していきます。

- 産業カウンセラーの3つの活動領域
- 1 メンタルヘルス対策への支援
  - 2 キャリア形成への支援
  - 3 職場における人間関係開発・職場環境改善への支援



1979年 東京麹町田舎区梅正の協会事務所

1960年

- 日本産業カウンセラー協会 創立(11月)

1971年

- 社団法人日本産業カウンセラー協会として、第1回全国研究大会・総会を大阪で開催。以降毎年開催(2014年度を除く)
- 会報「産業カウンセリング」創刊号発行
- 2級産業カウンセラー試験開始

1970年

- 労働省より社団法人の認可を受ける(4月)

1980年

- 産業カウンセラー1級試験講座開講

会員数1,000人突破

1986年

- 「産業カウンセラー倫理綱領」施行

1987年

会員数3,000人突破

1992年

- 初級産業カウンセラー試験が労働省技能審査制度の認定を受ける

1993年

- 第1回中級産業カウンセラー試験実施
- 産業カウンセラー養成講座スタート

1998年

会員数5,000人突破

1995年

- 阪神・淡路大震災被災者救援のボランティア活動を実施



藤縄全吉(当時) 技能審査認定証を受ける



阪神・淡路大震災で倒壊した阪神高等造形専門学校

写真提供: 連合通信社

※2級・初級産業カウンセラーは現在の産業カウンセラー1級・中級産業カウンセラー





国家資格キャリアコンサルタント養成講習スタート

会員数30,000人突破

2016年

- キャリアコンサルタント国家資格化に伴いキャリアコンサルタント養成講習を開始

2019年

- 産業カウンセラー養成講座 e-Learning制開始
- SNSカウンセラー養成講座開始

2015年

- 「産業カウンセラーの日」(11月23日)制定



「産業カウンセラーの日」記念日登録証

JAIICO憲章(ごころざし)

私たちは、人間尊重の精神に立ち、産業カウンセリングを通して、働く人をめぐる組織と環境の調整、コミュニケーションの活性化に寄与し、人びとが信頼と安心の絆で結ばれる社会づくりに貢献します。

2013年

- 社団法人から一般社団法人へ移行

2012年

- JAIICO憲章(ごころざし)制定
- 有料職業紹介(厚生労働省認可事業)を開始

2011年

- 東日本大震災の被災者・ご家族・関係者を対象に「ごころの無料電話相談」を開設
- 働く人のメンタルヘルス・ポータルサイト「ごころの耳」(厚生労働省委託事業)を受託



震災先に向かうため、ボランティアで受け負日本大震災

2010年

- 協会ロゴマーク改訂



2009年

会員数20,000人突破



法務省からADR事業の認証を受ける

2008年

- 法務省からADR(裁判外紛争解決機関)事業の認証を受ける

2007年

- 自殺予防電話相談「働く人の電話相談室」を連合との協力体制のもと開始



働く人の電話相談室

2005年

- 新呼称「シニア産業カウンセラー」へ変更、シニアコース講座スタート
- JR福知山線脱線事故の遺族・負傷者の「心のケア」の電話相談に対応



毎年開催される全国研究大会

2004年

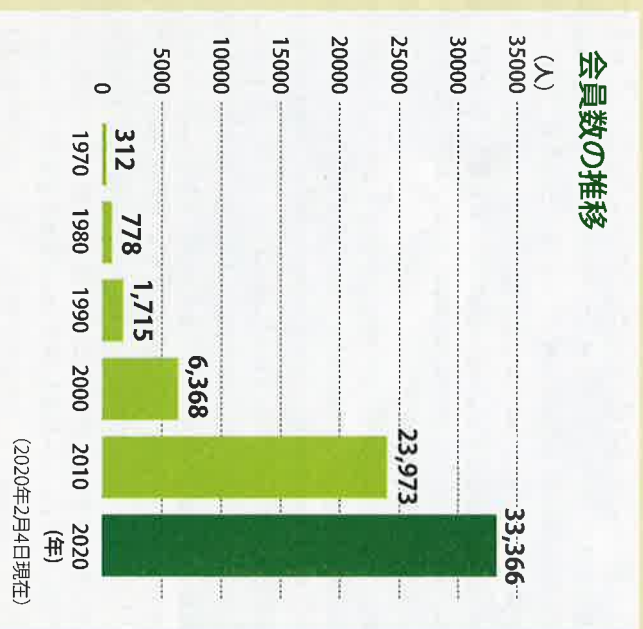
- 産業カウンセリング研究所創設
- 無料電話相談「働く人の悩みホットライン」開始

2002年

- キャリア・コンサルタント講座開始

2000年

- 無料職業紹介(労働省認可事業)を開始







## 2020産業カウンセリング 第49回全国研究大会in関西



写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟  
高野山真言宗総本山「金剛峯寺」

# ええと、関西 ～おこしやす～!!

和歌山

第6回目は、高野山、南紀白浜、熊野古道など全国に知られる観光地があり、豊かな自然がいっぱいの和歌山県をご紹介します。

日本の観光の始まりは巡礼の旅であり、その起源は熊野詣でといわれています。熊野詣では、熊野三山(熊野本宮大社、熊野速玉大社、熊野那智大社の3社と、那智山青岸渡寺の1寺)に参詣することをいいます。

まず、特筆すべきは、弘法大師(空海上人)によって開かれた真言密教の聖地「高野山」と自然崇拜の聖地「熊野」の存在です。これらの霊場とそこに至る参詣道は、世界遺産「紀伊山地の霊場と参詣道」として今年で登録16周年を迎えます。

ところで、サッカーの試合であれば目にする3本足の「八咫鳥(やたがらす)」、実は、日本神話に登場し、勝利に導く道案内をしながらとして熊野三山では神の使いとして祭られ、現在、日本サッカー

協会のシンボルマークに使用されていることをご存じでしたか。

和歌山県は豊富な泉質の「源泉掛け流しの湯」を県内各地で楽しめる温泉天国でもあり、代表的な温泉地として「白浜温泉」「南紀熊浦温泉」「龍神温泉」「熊野本宮温泉郷」が挙げられます。中でも白浜温泉は、日本3古湯の一つに数えられる歴史ある温泉であり、周辺には三段壁や千畳敷、円月島といった絶景が楽しめるスポットやパンダの飼育頭数日本一を誇る「アドベンチャーワールド」があり、人気観光地の一つとなっています。

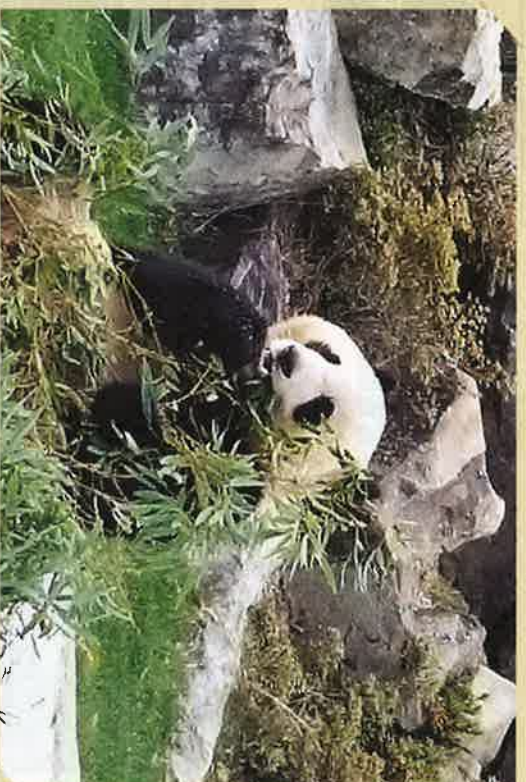
また、白浜町には、和歌山県が生んだ知の巨人、南方熊楠(みなかた・くまべす)の資料を展示した記念館もあります。もちろん、海の幸や山の幸が数多く味わえるグルメスポットもたくさんありますよ。

1日では回りきれない、和歌山県でしか体験できない自然・歴史・グルメ・温泉を堪能しに、ぜひ一度、足を運んでみられてはいかがでしょうか。  
(関西支部/山田 規文)



熊野古道のお地藏さん

写真提供：公益社団法人和歌山県観光連盟



アドベンチャーワールドのパンダ

写真提供：関西支部/谷口 直美